

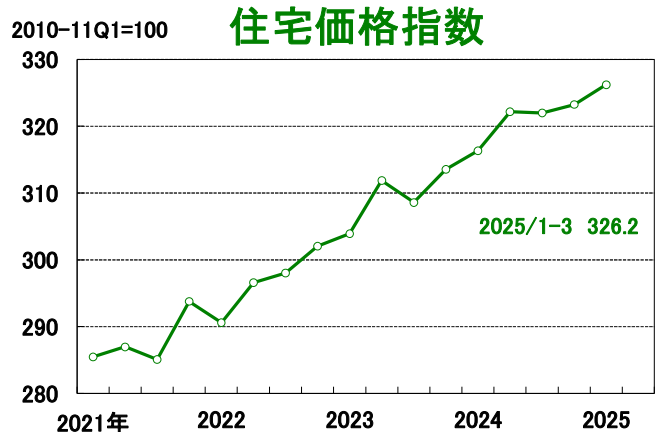
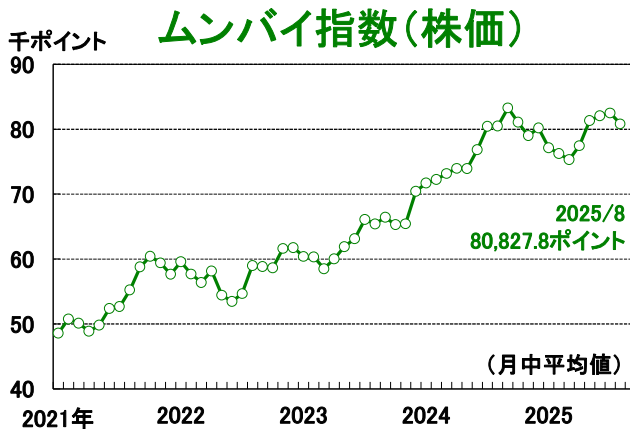
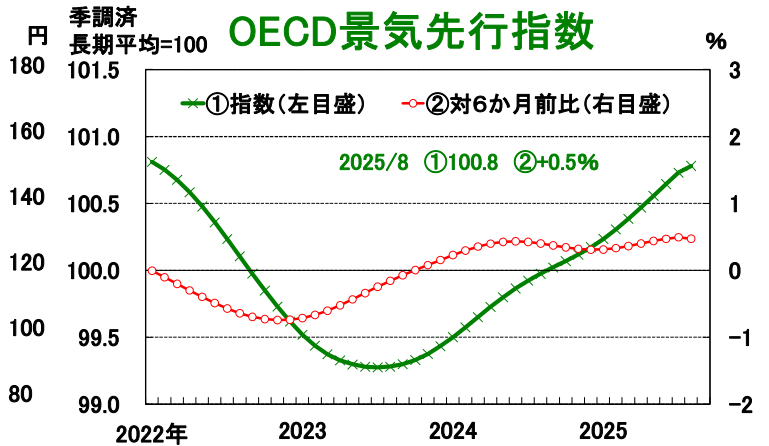
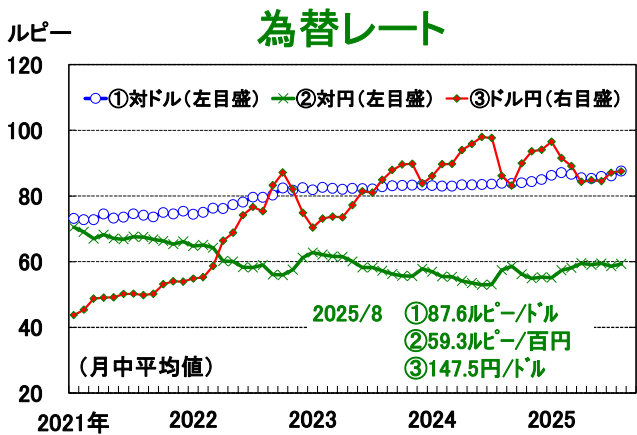
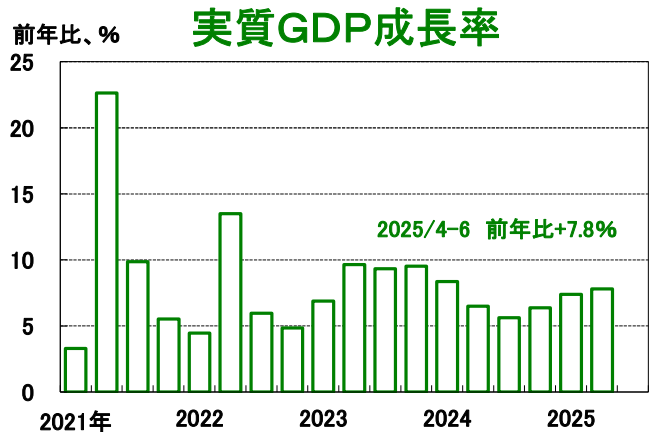
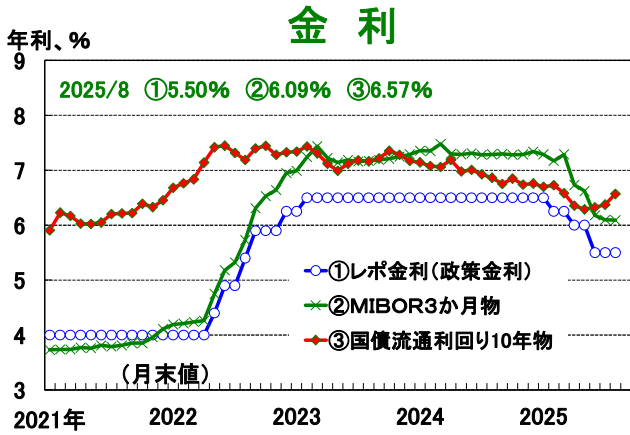
# グラフで見るインド経済 2025年9月号(No. 189)

2025年4～6月期のインドの実質GDP(国内総生産)は前年比+7.8%と、前期(同+7.4%)に比べて成長率が高まった。内訳をみると、総固定資本形成が減速したものの、最終消費は政府支出を中心に持ち直した。直近の月次指標をみると、中国向けの持ち直しなどを背景に、7月の輸出は前年比+7.3%と前年水準を上回った。こうした中、同月の鉱工業生産指数は同+3.5%と前月の伸びを上回った。もっとも、7月の新車販売台数(当社試算の季節調整値)は前月比+1.9%と増加したものの、低水準にとどまった。

### 【足元の景気判断】

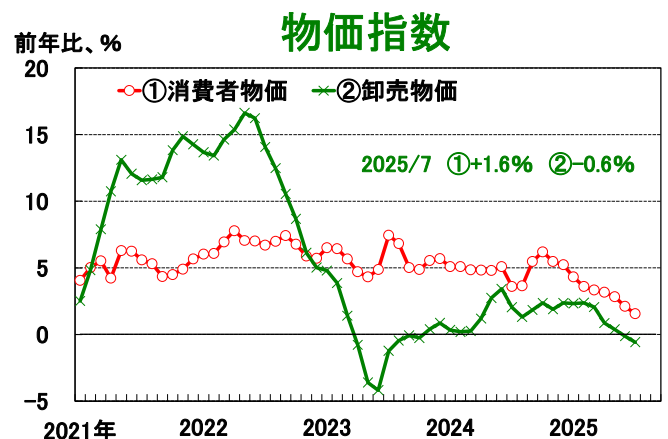
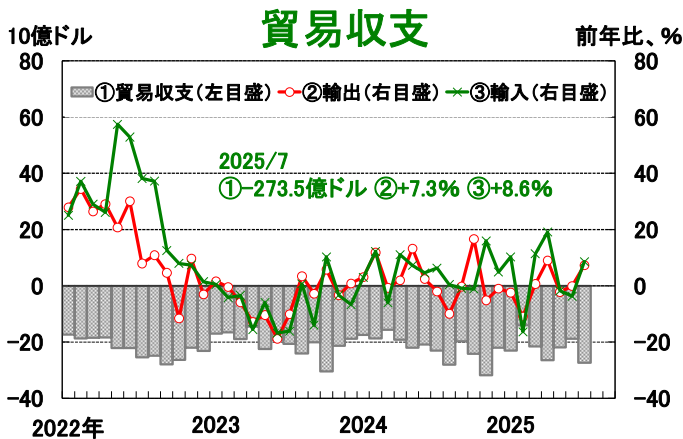
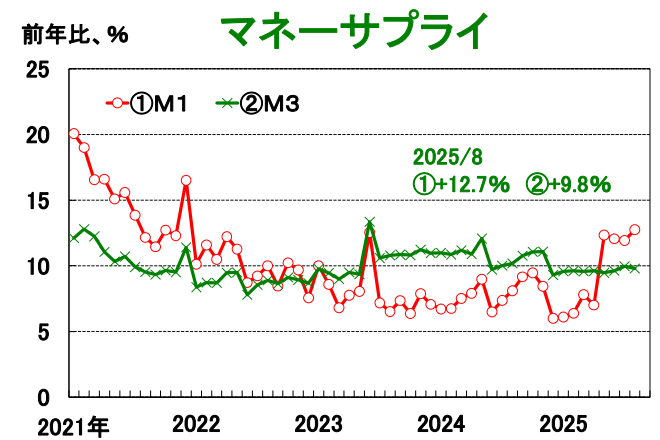
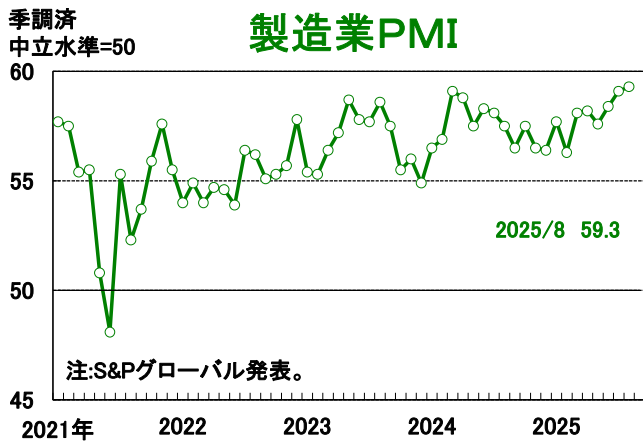
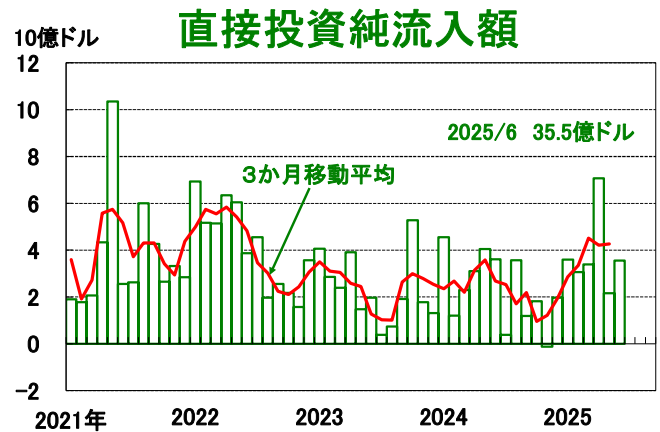
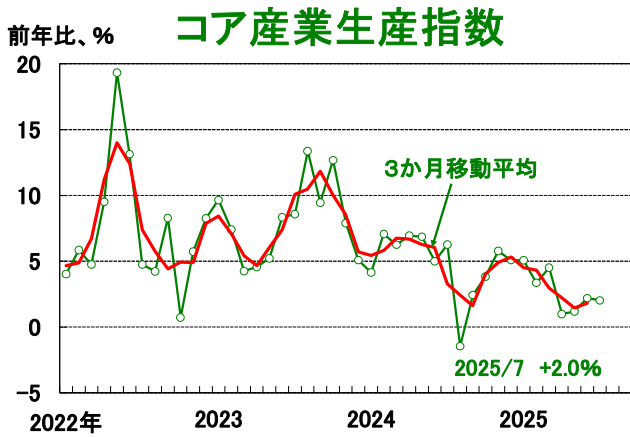
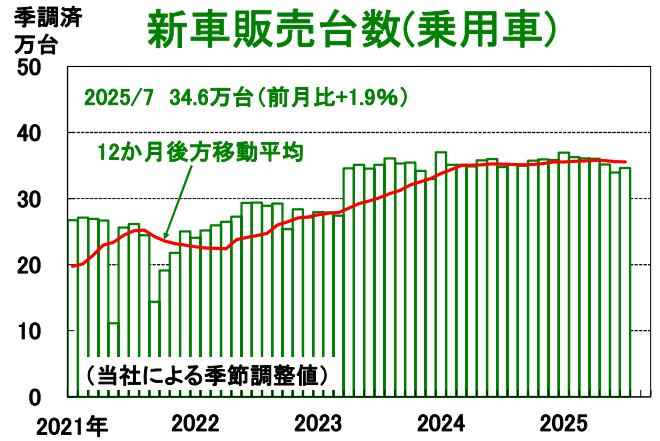
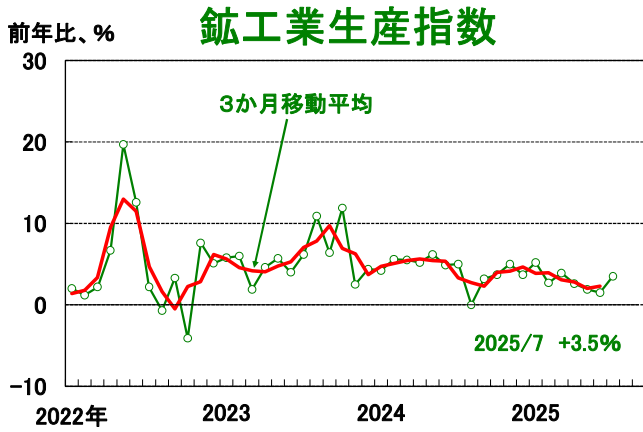
指標	景気全般	輸出	新車販売	鉱工業生産	製造業PMI
判断結果	↑	↑	↓	→	↑

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。



(出所) インド準備銀行、インド統計・計画実施省、OECD、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。